

Wi-Fi / 接続

パソコンとUSBで接続する.....	160
USBマスタストレージを使う.....	161
Wi-Fiで接続する.....	161
テザリングオプション-Sを利用する.....	164
Bluetooth®機能を利用する.....	165
赤外線でデータをやりとりする.....	168
DLNA機能を利用する.....	171
テレビと接続して楽しむ.....	175

パソコンとUSBで接続する

本機をmicroUSBケーブル（市販品）でパソコンと接続し、データを転送したり本機の内蔵ストレージやSDカード内のデータをパソコンで利用したりすることができます。

本機内のデータをパソコンとやりとりする

次の方法で接続できます。

表示	説明
メディアデバイス (MTP)	本機をメディアデバイスとして接続して、すべてのデータを操作できます。
カメラ (PTP)	本機をカメラデバイスとして接続して、写真や動画のデータを転送できます。

- ・ Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8のパソコンで動作を確認しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。
- ・ メディアデバイス (MTP) で接続する場合は、あらかじめ、パソコンにWindows Media Player 11以降がインストールされていることをご確認ください。
- ・ MTPモードでの操作例です。お買い上げ時は「メディアデバイス (MTP)」が選択されています。

1

本機の外部接続端子キャップを開き、外部接続端子にmicroUSBケーブル（市販品）のmicroUSBプラグを差し込み、パソコンと接続



接続するとステータスバーに、接続された旨のメッセージが表示されます。

- ・ microUSBプラグの向きに注意して、外部接続端子に水平に差し込みます。

2

ステータスバーを下にドラッグ



通知パネルが表示されます。

3


「メディアデバイスとして接続」と表示されていることを確認



- ・ PTPモードで接続する場合は、「メディアデバイスとして接続」をタップし、「カメラ (PTP)」をタップします (表示) 。

4

パソコン側で、データを操作

 ファイルが転送されます。

- ・ パソコンとの通信が終わったらmicroUSBケーブル（市販品）を取り外し、本機の外部接続端子キャップを閉じてください。

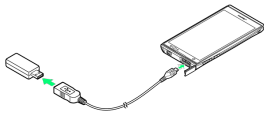
USBマストレージを使う


ホスト機能付きmicroUSBケーブル（市販品）で本機の内蔵ストレージやSDカードと、USBマストレージ（USBメモリ、USB接続の外付けハードディスクなど）を接続して、データのやりとりができます。

USBマストレージを接続する

1

本機の外部接続端子キャップを開き、外部接続端子にホスト機能付きmicroUSBケーブル（市販品）のmicroUSBプラグを差し込み、USBマストレージと接続



ステータスバーに  が表示され、本機とUSBマストレージが接続されます。

- ・microUSBプラグの向きに注意して、外部接続端子に水平に差し込みます。
- ・複数のUSBマストレージを接続した場合は1台のみマウントされます。

USBマストレージを取り外す


1

ホーム画面で  → **本体設定** → **ストレージ**



2

USBストレージのマウント解除  ホスト機能付きmicroUSBケーブル（市販品）を取り外す

 本機とUSBマストレージとの接続が解除されます。

USBマストレージ使用時の注意

USBマストレージ使用時は次の点に注意してください。

- ・すべての機器との動作を保証するものではありません。本機能を使用することでのデータや機器へのすべての不具合につきまして、当社は一切の保証を致しかねます。
- ・ホスト機能付きmicroUSBケーブル（市販品）のUSBプラグをUSBマストレージのUSBコネクタに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。

Wi-Fiで接続する

本機はWi-Fi（無線LAN）に対応しており、ご家庭のWi-Fi環境などを通じて、インターネットを利用できます。Wi-Fiルーター（Fon社製）をご利用のかたは、「[Fon Wi-Fiルーター設定ガイドBook \(http://mb.softbank.jp/mb/special/network/pdf/wifi_howto_01.pdf\)](http://mb.softbank.jp/mb/special/network/pdf/wifi_howto_01.pdf)」を参照してください。


ネットワークを選択して接続する

検出したWi-Fiネットワークを選択して、接続します。

1

ホーム画面で  → **本体設定** → **Wi-Fi**






 Wi-Fi設定画面が表示されます。

2

OFF



 Wi-Fiが「ON」になります（）。

・Wi-Fi設定を「OFF」にするときは、 をタップします。

3

アクセスポイントをタップ  パスワードを入力  **接続**



 接続が完了します。

- ・パスワードは、ご家庭用の無線LANルーターであれば、「WEP」や「WPA」、「KEY」などと、ルーター本体にシールで貼られている場合があります。詳しくは、ルーターのメーカーにお問い合わせください。また、公衆無線LANのパスワードはご契約のプロバイダーにご確認ください。
- ・セキュリティで保護されていないアクセスポイントのときは、パスワードを入力する必要はありません。

接続情報を手動で設定して接続する

1

ホーム画面で → **本体設定** → **Wi-Fi**



Wi-Fi設定画面が表示されます。

- ・「Wi-Fi」が「OFF」の場合は **OFF** をタップして「ON」にします。

2

- ➕ **ネットワークSSIDを入力** → **セキュリティ欄をタップ**
- ➔ **対象のセキュリティをタップ** → **パスワード入力欄をタップ**
- ➔ **パスワードを入力** → **保存**



接続が完了します。

- ・セキュリティで保護されていないアクセスポイントのときは、パスワードを入力する必要はありません。
- ・選択したセキュリティによっては、その他の項目を設定する必要があります。

Wi-Fi接続を解除する

1

Wi-Fi設定画面で、接続中のアクセスポイントをタップ → **切断**



Wi-Fi接続が解除されます。

自宅などのアクセスポイントを簡単に登録する

AOSS方式またはWPS方式に対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

- ・AOSS方式は2.4GHzのみに対応しています。
- ・無線LANアクセスポイントによっては、AOSS方式での接続ができない場合があります。接続できない場合はWPS方式または手動で接続してください。

1

ホーム画面で → **本体設定** → **Wi-Fi簡単登録**



2

AOSS方式 / **WPS方式** → 画面の指示に従って操作

接続が完了します。

- ・**AOSS方式** をタップした場合はアクセスポイント側でAOSSボタンを押して **OK** をタップします。
- ・「WPS方式」で **プッシュボタン方式** をタップした場合は、アクセスポイント側でWPSボタンを押します。
- ・「WPS方式」で **PIN入力方式(8桁)** または **PIN入力方式(4桁)** をタップした場合は、本機に表示されたPINコードをアクセスポイント側で入力し、**OK** をタップします。

Wi-Fi Directを利用する

Wi-Fi Directとは、アクセスポイントやインターネットを経由せずに本機とほかのWi-Fi機器間でWi-Fi通信ができる機能です。簡単な操作で接続することができます。

1

ホーム画面で **本体設定** **Wi-Fi**



Wi-Fi設定画面が表示されます。

- ・「Wi-Fi」が「OFF」の場合は **OFF** をタップして「ON」にします。

2

Wi-Fi Direct



「ピアデバイス」欄に、接続できる機器が表示されます。

3

利用する機器をタップ



相手のWi-Fi機器にWi-Fi Direct接続設定リクエストが表示されます。

- ・相手のWi-Fi機器でリクエストに承諾する必要があります。

4

利用する機器が「接続済み」と表示されていることを確認



Wi-Fi Direct接続が行われます。


Wi-Fi接続を最適化するための自動更新について

Wi-Fi接続をしている場合、接続を最適化するための設定を自動的に受信/更新することがあります。




+ Wi-Fi設定時の操作

接続中のアクセスポイントの状況を確認する





Wi-Fi設定画面で、アクセスポイントをタップ

 接続状況、電波強度、リンク速度、セキュリティ、IPアドレスが表示されます。



オープンネットワークが利用可能なときに通知する

Wi-Fi設定画面で   **詳細設定**  **ネットワークの通知** (表示)

スリープモード中のWi-Fi接続を設定する

Wi-Fi設定画面で   **詳細設定**  **画面消灯時のWi-Fi設定**  設定項目をタップ




Wi-Fi通信が不安定なときにWi-Fi接続を無効にする

Wi-Fi設定画面で   **詳細設定**  **接続不良のとき無効にする** (表示)


使用する周波数帯域を指定する

Wi-Fi設定画面で   **詳細設定**  **Wi-Fi周波数帯域**  設定項目をタップ

アクセスポイントを変更する

Wi-Fi設定画面で、接続中のアクセスポイントをロングタッチ  **ネットワークを変更**  **必要事項を変更**  **保存**

アクセスポイントを削除する

Wi-Fi設定画面で、接続中のアクセスポイントをロングタッチ  **ネットワークから切断**

テザリングオプション-Sを利用する

テザリングオプション-Sについて

テザリングオプション-Sを利用することで、本機をWi-Fiルーターのように使い、パソコンやゲーム機などからインターネットにアクセスできます。

- ・ご利用には別途お申し込みが必要です。
- ・本機のソフトウェアが最新であることをご確認のうえご利用ください。


テザリングオプション-Sを起動する

1

ホーム画面で   (テザリング)



 テザリングオプション-S画面が表示されます。


- ・規約同意画面が表示されたら、内容を確認のうえ **同意する** をタップします。
- ・お買い上げ時は、ホーム画面で  をタップするとWi-Fiテザリング (Pocket WiFi) を「ON」にできます。



テザリングオプション-Sの使いかたを確認する

1

ホーム画面で    (テザリング)




 テザリングオプション-S画面が表示されます。

- ・お買い上げ時は、ホーム画面で  (Pocket WiFi) をタップするとテザリングオプション-S画面を表示できます。
- ・規約同意画面が表示されたら、内容を確認のうえ  をタップします。

2

ヘルプ



 ヘルプ画面が表示されます。

3

画面の指示に従って操作

 各項目の説明が表示されます。

Bluetooth®機能を利用する

Bluetooth®対応の携帯電話などと接続して通信を行ったり、ヘッドセットなどのハンズフリー機器と接続して利用できます。


Bluetooth®機能を有効にする

- ・本機は、すべてのBluetooth®機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- ・相手機器によっては、正しく接続できないことがあります。
- ・ワイヤレス通話やハンズフリー通話のとき、状況によっては雑音が入ることがあります。

1

ホーム画面で     






 Bluetooth®設定画面が表示されます。

2

OFF



 Bluetooth®機能が「ON」になります ()。

- ・Bluetooth®機能を「OFF」にするときは、  をタップします。
- ・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

Bluetooth®機器を登録する

近くにあるBluetooth®機器を検索し、本機に登録します。登録したBluetooth®機器には簡単な操作で接続できます。

- ・あらかじめ、登録するBluetooth®機器を検出できる状態にしておいてください。

1

ホーム画面で → **本体設定** → **Bluetooth**



「使用可能なデバイス」欄に、近くにあるBluetooth®機器が表示されます。

- ・「Bluetooth」が「OFF」の場合は **OFF** をタップして「ON」にします。

2

機器をタップ



- ・目的の機器が表示されないときは、**デバイスの検索** をタップし、再検索してください。

3

画面の指示に従って機器を認証

Bluetooth®機器が本機に登録（ペア設定）されます。

- ・登録する機器によっては、認証方法が異なります。

登録済みのBluetooth®機器と接続する

1

ホーム画面で → **本体設定** → **Bluetooth**



Bluetooth®設定画面が表示されます。

- ・「ペアリングされたデバイス」欄に、登録済みのBluetooth®機器が表示されます。

2

機器をタップ

タップした機器と接続されます。

- ・機器によっては、タップしなくても自動で接続されます。

Bluetooth®でデータを送信する

ギャラリーの画像をBluetooth®通信で送信する操作を例に説明します。あらかじめ本機のBluetooth®機能を「ON」にしてください。また、相手のBluetooth®機器とペア設定を行ってください。

1

ギャラリーで送信する画像をタップ






・ギャラリーについては「静止画／動画を表示する」を参照してください。

2

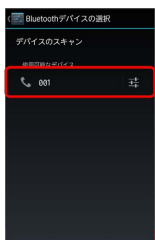
Bluetooth




・の隣にが表示されている場合は、をタップしても操作できます。

3

機器をタップ



 画像が送信されます。

・Bluetooth®機器によっては、受信を許可するなどの操作が必要な場合があります。

Bluetooth®でデータを受信する

あらかじめ本機のBluetooth®機能を「ON」にしてください。また、相手のBluetooth®機器とペア設定を行ってください。

1

Bluetooth®機器から本機にファイルを送信

 ステータスバーにファイル着信を知らせるが表示されます。

2



ステータスバーを下にドラッグ



3

Bluetooth共有：ファイル着信  承諾



 受信が完了するとステータスバーにが表示されます。


4

ステータスバーを下にドラッグして通知パネルを開く

5

Bluetooth共有：受信したファイル  外部からの転送ファイル一覧で受信ファイルをタップ



 受信したファイルの種類に応じて、再生されたり該当するアプリケーションのデータとして保存されます。

? こんなときは

Q. Bluetooth®機能を利用できない

A. 機内モード中ではありませんか。機内モードを設定するとBluetooth®機能はいったん無効になります。
 ・機内モード中に再びBluetooth®機能を有効にすることができます。Bluetooth®機能を有効にする方法については「Bluetooth®機能を有効にする」を参照してください。

! Bluetooth®機能利用時のご注意

送受信したデータの内容によっては、互いの機器で正しく表示されないことがあります。

赤外線でデータをやりとりする

赤外線を利用して、携帯電話などほかの機器とデータをやりとりすることができます。


データを1件ずつ受信する

連絡先の受信を例に説明します。

1

ホーム画面で   (赤外線)






 赤外線受信画面が表示されます。

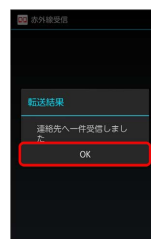
2

1件受信



3

相手側で連絡先データ送信の操作を実行   



 データが受信されます。

- ・連絡先へ追加の確認画面で **スキップ** をタップすると受信を中止します。
- ・アカウントの選択画面が表示された場合は、対象のアカウントをタップします。


機能ごとのデータを一括して受信する

連絡先全件受信を例に説明します。

1

ホーム画面で    (赤外線)





 赤外線受信画面が表示されます。

2

全件受信



3

認証パスコードの入力欄をタップ  認証パスコードを入力 

受信



 赤外線受信待機中画面が表示されます。

- ・認証パスコードは、正しい通信相手かどうかをお互いに確認するための暗証番号です。送信側/受信側で同じ数字(4桁)を入力します。特に決まった数字ではなく、その通信限りのものです。

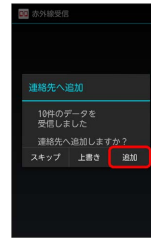
4


相手側で連絡先全件送信の操作を実行(認証パスコードの入力含む)

 本機側で連絡先へ追加の確認画面が表示されます。

5

追加

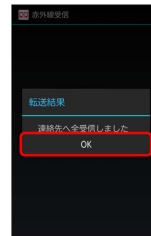


 連絡先の変換処理が開始され、転送結果画面が表示されます。

- ・連絡先へ追加の確認画面で **スキップ** をタップすると受信を中止します。
- ・アカウントの選択画面が表示された場合は、対象のアカウントをタップします。

6

OK



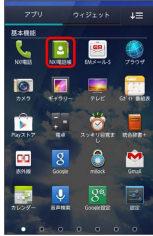
 データが受信されます。

データを1件ずつ送信する

連絡先を例に説明します。

1

ホーム画面で   (NX!電話帳)



2

送信する連絡先をタップ




3


  赤外線



 赤外線転送中画面が表示されます。

4

相手側でデータ受信の操作を実行 

 データが送信されます。

データをすべて送信する

連絡先を例に説明します。

1

ホーム画面で   (NX!電話帳)



2


  電話帳ツール  電話帳全件送信



3


認証パスコード入力欄をタップ  認証パスコードを入力  送信




 赤外線転送中画面が表示されます。

・認証パスコードは、正しい通信相手かどうかをお互いに確認するための暗証番号です。送信側/受信側で同じ数字(4桁)を入力します。特に決まった数字ではなく、その通信限りのものです。

4

相手側でデータ受信の操作を実行 

 データが送信されます。

赤外線通信について

送受信できるデータについて

連絡先、静止画などが送受信できます。

赤外線通信を行う方法

受信側、送信側の機器を近づけ、双方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにして送受信してください。

バージョンについて

本機の赤外線通信は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。

赤外線通信中の動作について

赤外線通信中にほかのアプリケーションが起動すると、通信が終了します。

データ容量について

送受信できる静止画のデータ容量は、5MBまでです。

+ 本機のデータを削除して受信する

受信方法の選択画面で **上書き**

・本機（該当する機能）のすべてのデータが削除されます。ご注意ください。

? こんなときは

Q. 送受信がうまくいかない

A. 赤外線ポートは正しく向き合っていますか。送受信時、赤外線ポート間に物を置かないでください。また、送受信終了まで、動かさないでください。また、相手機器やデータによっては、利用できなかったり、正しく転送されないことがあります。

! 赤外線通信利用時のご注意

赤外線通信を行うときは、赤外線ポートに目を向けないでください。目に影響を与えることがあります。

DLNA機能を利用する

Wi-Fi通信を利用して、本機と外部機器間で静止画や動画などのファイルを共有できます。本機のSDカードに保存したコンテンツをDLNA対応のパソコンやテレビで再生したり、DLNA対応のパソコンやネットワーク対応ハードディスク（NAS）のコンテンツを本機で再生したりすることができます。

DLNA対応機器と連携するにはWi-Fi接続が必要です。

DLNA対応機器側での操作については、DLNA対応機器の取扱説明書をご覧ください。

本機はDTCP-IPに対応しています。

本機能は、本機とすべてのDLNA/DTCP-IP対応機器との連携を保証するものではありません。

DLNAサーバーを有効にする

1

ホーム画面で **ホーム** (DiXiM Player)



DiXiM Player画面が表示されます。

・Wi-Fi接続案内画面が表示された場合、Wi-Fi接続環境であれば **キャンセル** をタップします。

2

サーバー起動 **はい**

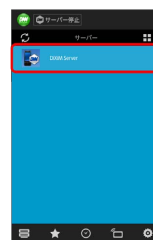


DiXiMサーバーが起動します。

・サーバーを停止するときは、 **サーバー停止** をタップします。






3

本機のサーバー名をタップ



DiXiMサーバーがDLNAサーバーとして設定（公開）され、コンテンツ一覧画面が表示されます。

コンテンツ一覧画面のメニューアイコン

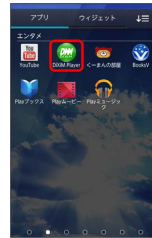
アイコン	説明
	DiXiMサーバー一覧を表示
	ブックマーク一覧を表示
	再生履歴を表示
	持ち出し番組一覧を表示
	設定メニューを表示

コンテンツ操作メニューで操作する

コンテンツを選択し、ダイレクトに各種の操作を行うことができます。操作内容によっては、あらかじめDLNA対応機器側でコンテンツを公開し、本機からのアクセスを許可しておく必要があります。

1

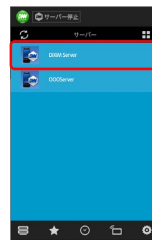
ホーム画面で  (DiXiM Player)




 DiXiM Player画面が表示されます。

2

サーバー名をタップ

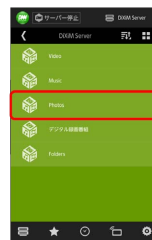


 選択したサーバーのコンテンツ一覧画面が表示されます。

- ・前回起動時にDLNAサーバーを選択していた場合はコンテンツ一覧画面が表示されます。
- ・サーバーが起動していない場合には、遠隔起動の確認画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

3

フォルダを選択



4

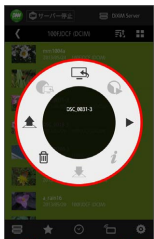
コンテンツをロングタッチ



🔲 コンテンツ操作メニューが表示され、実行可能な選択肢がアクティブ表示されます。

5

任意のメニューをタップ



🔲 選択した操作を実行するための画面が表示されます。

- ・ドラマなどの連続放送の録画番組を再生中に をタップして **連続再生** **ON** をタップすると、次のコンテンツを連続して再生します。
- ・プレーヤーとしてコンテンツを再生しているときに、本機とDLNA対応機器で再生先を切り替えると、コンテンツの続きから再生します。

コンテンツ操作メニューアイコン

アイコン	説明
	本機で再生
	続きから再生
	別の機器で再生
	別の機器で続きから再生
	アップロード
	削除
	ダウンロード
	番組詳細情報

本機のコンテンツをDLNA対応機器側で再生する

- ・あらかじめ本機のDLNAサーバーを起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。

1

DLNA対応機器側で本機のコンテンツを操作

🔲 DLNA対応機器側で本機のコンテンツが再生されます。

- ・DLNA対応機器側での操作については、DLNA対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・本機のカメラで撮影した動画などは、本機以外のDLNA対応機器で再生できない場合があります。

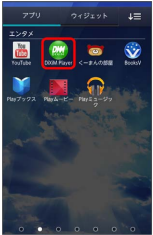
デジタル録画番組を持ち出して再生する

レコーダーなどのDLNA対応機器に録画したデジタル録画番組を本機に保存し、再生できます。

- ・DLNA対応機器がコンテンツのアップロードに対応している必要があります。
- ・あらかじめDLNA対応機器から本機へのアクセスを許可してください。

1

ホーム画面で (DiXiM Player)



DiXiM Player画面が表示されます。

2

サーバー起動 はい DLNA対応機器側でコンテンツをアップロード

「DiXiM Serverの設定」の「保存先設定」で設定した保存先に、コンテンツが保存されます。

3

DiXiM Player画面で



持ち出し番組一覧が表示されます。

4

持ち出し番組一覧からコンテンツを選択

コンテンツが再生されます。

+ DLNAサーバーを設定する

DLNAサーバー名を設定する

DiXiM Player画面で

・ここで設定したサーバー名が、DLNA対応機器に表示されます。

接続機器のアクセス権を設定する

DiXiM Player画面で

接続機器に公開するフォルダを設定する

DiXiM Player画面で

起動時にメッセージを表示するかどうかを設定する

DiXiM Player画面で

画面ロック中でもサーバーの動作を継続する

DiXiM Player画面で

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

テレビと接続して楽しむ

本機と接続したテレビに静止画、動画、ブラウザ画面などを表示することができます。

テレビと接続する

接続にはMHLケーブル（市販品）が必要です。

- ・アプリケーションによっては、テレビに本機の画面を表示できないことがあります。

1

本機の外部接続端子とテレビ側のMHL端子をMHLケーブル（市販品）で接続

- ・ テレビ側のMHL端子への接続方法や入力の切り替え、音量の調節などについてはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- ・ テレビ側のHDMI端子に接続する場合は、HDMIケーブル（市販品）とMHL-HDMI変換アダプタ（市販品）が必要です。MHL-HDMI変換アダプタの接続方法については、MHL-HDMI変換アダプタの取扱説明書をご覧ください。

2

本機側で静止画、動画、ブラウザ画面を操作

 テレビに本機の画面の内容が表示されます。

MHL出力時の動作について

テレビのリモコンについて

MHL出力中は、テレビのリモコンで静止画や動画の操作ができる場合があります。

全画面表示について

MHL出力中は、コンテンツによっては、全画面表示ができない場合があります。また、本機のディスプレイが黒く表示される場合があります。

MHL出力中の制限について

MHL出力中は、FMトランスミッタをご利用できません。
MHL出力中は、マルチメディア設定の「動画補正」「静止画補正」は無効となります。

